

大学は、法令の定めにより当該大学の教育、研究、組織、運営、施設・設備の状況について、自ら点検・評価(「自己点検・評価」という)を実施し、7年以内ごとに文部科学大臣が認証した認証評価機関による評価(「認証評価」という)を受けなければならないことになっています。認証評価制度の開始が2004年度のため、2010年度までにすべての大学が一度は認証評価を受ける必要があります。本学では、現在、学長を委員長とする大学評価委員会の下、全学的な自己点検・評価に邁進しており、2009年度に認証評価機関である財団法人大学基準協会の評価を受けることで準備を進めています。

本学は、単なる法令順守という意味合いでの自己点検・評価および認証評価への対応に留まらず、本学の恒常的かつ実質的な改善・改革に資するマネジメント・サイクルの構築・強化を図り、創立からまもなく125年を迎える歴史の中で築き上げてきた社会

的信頼を一層高め、21世紀の知識基盤社会に相応しい魅力ある総合大学であり続けるよう努めています。

また、専門職大学院については、全学的な認証評価とは別個に、各専門職大学院を対象とする認証評価を5年以内ごとに受けることが求められています。本学の専門職大学院では、昨年度、国際会計研究科(アカウンティングスクール)が財団法人大学基準協会の認証評価を、法務研究科(ロースクール)が財団法人日弁連法務研究財団による認証評価を受け、それぞれ、認証評価機関の定める基準に適合しているとの認定を受けました。

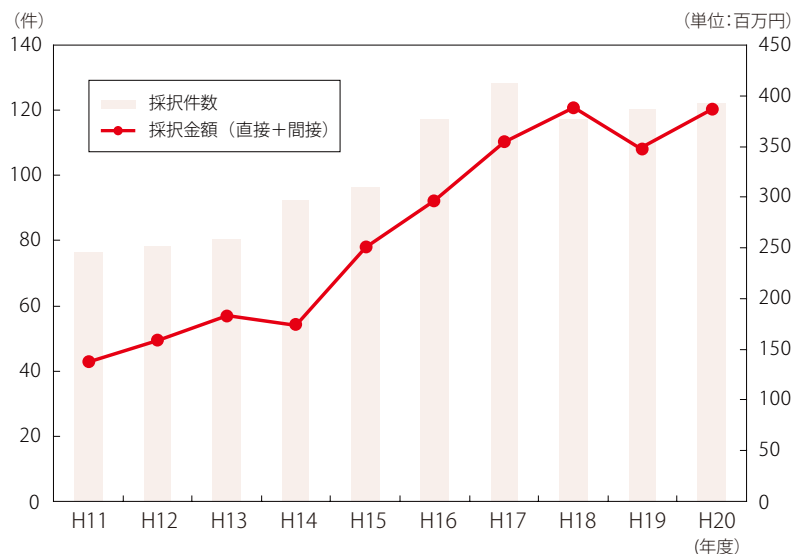
このようにして取り組む自己点検・評価および認証評価の結果については、本学や認証評価機関のホームページ等を通じて社会に広く公表することが求められており、これを通じて積極的な意味での情報公開と説明責任を果たすことになっています。

文部科学省所管の競争的資金である「科学研究費補助金」は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的としているもので、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行っています。

本学の採択状況の動向に目を向けてみると、平成14年度までの採択金額は1億5千万円前後で推移していたものが、3年後の平成17年度には倍増以上という急激な増加傾向を見せています。また、文部科学省ホームページで公表されている「平成20年度科学研究費補助金の配分について」によると、応募件数50件以上の大学等を対

象とした平成20年度新規採択分の機関別採択率で全国第7位、私立大学中では第1位という結果となりました。

参照先 URL : http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1220970.htm



年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
採択件数	77	76	78	80	92	96	117	128	117	120	124
採択金額 (直接+間接)	142,500	137,000	158,300	182,560	173,450	249,640	295,990	353,880	388,324	346,715	387,153

件数(単位:件) 金額(単位:千円)